

県高校ハンドボール選手権

ハンドボールの第53回県高校選手権大会最終日は16日、八重瀬町

具志頭社会体育館で男女の決勝を行い、女子是那覇西が接戦の末に24-22で浦添に競り勝ち、6年ぶり8回目の栄冠を手にした。男子は興南が31-24でコザに快勝し、12年連続34回目の頂点に立った。

那覇西(女子) 興南(男子) V

【男子】
▽決勝
興南 31
1615 915 24 コザ

【女子】
▽決勝
那覇西 24
1410 913 22 浦添

焦点

23-22、那覇西リードで迎えた残り1分。浦添がセットプレーを仕掛ける。那覇西ベンチが警戒して「ポスト」と叫ぶと同時に、パスが送られる。そこを4

人が挟み込み、ルーズボールを奪い取った。すかさずタイムアウト。再開直後、プレーヤーが1人多くコートに立つミスで、浦添は1人退場に。残り29秒。那覇西の優勝への扉が開き始める。右側から相手守備をすらし、左45度の喜納歩菜が「お願い」と託したボールを、左サイドの宮里真帆が「絶対決める」とネットを揺らした。遠のいていた優勝をつかんだ選手らは、歓喜の涙を抱き合った。那覇西は14人中7人が負傷し、GKもコートプレーヤーが代理を務める厳しい状態だった。決勝序盤は浦添のセットプレーにカパーが遅れた。だが、堅守が武器の那覇西。守備で上地夕杏蘭や宮城奈月らが一歩目のスピードを上げると、浦添の足とボールを止めて単発な展開にさせる。攻撃は1年の久場川かりんが相手を引きつけ、シュート力のある喜納くない」と意気込む。膝のけがでベンチに下がっていた金城有華主将は「自分も膝を治し来年夏の全国総体前には復帰して、全国制覇を目指したい」と力を込めた。

堅守で浦添止める

那覇西

(嘉陽拓也)

個人技光り、試合支配

興南

○男子決勝、興南はコザの鋭い個人技などで前半ザのパワフルな連係に出だしはリードを許したが、守備を横一線から1-2-3に変更に相手の足を止めると、田仲康太郎や前里蓮山山充貴の個人技が光った。加えてベンチスタートメンバーも奮起。消極的なプレーに対しては、すぐに選手を交代する黒島昭監督の采配もあり、多くの選手が果敢な攻めを見せた。



興南-コザ 後半、高いジャンプでシュートを放つ興南の田仲康太郎



浦添-那覇西 チーム最多の9得点を決めた那覇西の上地夕杏蘭=16日、八重瀬町具志頭社会体育館 (ジャン松元撮影)



女子を制した那覇西高校ハンドボール部



男子優勝の興南高校ハンドボール部